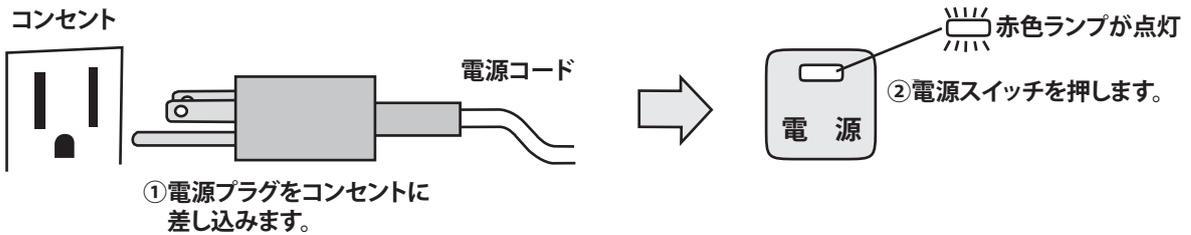


■高濃度微酸性水の操作手順

1 電源を入れます。



2 原液を作ります。 電解補助液入り 1 杯(2L)、水のみ 1 杯(2L)

電解補助液入り原液

1. 隔膜フィルターを外した状態で、付属の 2L ビーカーに電解補助液を入れて、精製水を追加し 2L にします。(1 杯)(電解補助液は 250cc です。)
2. 攪拌棒でよくかき混ぜてください。
3. もう 1 杯(2L) は水のみです。



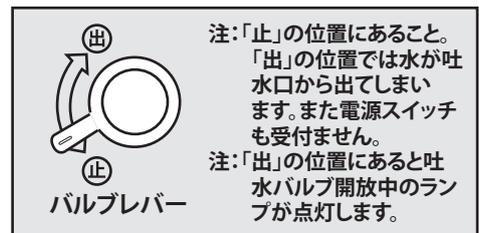
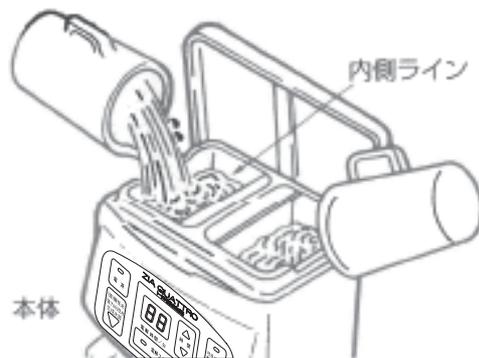
注：電解補助液は強酸性の水ですので、飲用は絶対にせず取扱いには十分ご注意ください。
万が一、皮膚に付いた場合や他に付着した場合は水道水で十分に洗い流して下さい。

注：電解補助液は指定されたものをご使用ください。
性能が得られなかったり、機器の故障につながります。

注：電解補助液は、強酸性の液体ですので取扱いは十分に注意してください。

3 本体のフタを取り、作った原液を入れます。

フタを取り、作った原液を入れます。
作った原液は左右の槽に半分ずつ入れてください。



電解補助液は強酸性の水ですので、本体に注ぐ時は十分ご注意ください。
万が一、皮膚に付いた場合や他に付着した場合は水道水で十分に洗い流して下さい。

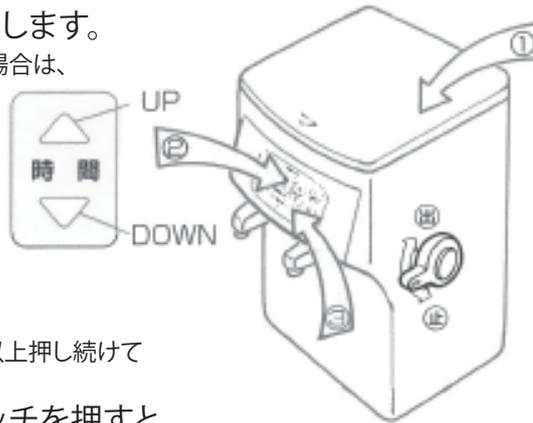
- 注：1. 槽の内側のラインが水量の目安です。
2. 片側だけに原液を入れると、電解補助液が混ざりにくなります。

4

フタを閉め電解時間をセットし、電解スタートスイッチを押します。(電解開始)

1. フタを閉めます。
2. 電解時間をセットします。

電解時間をセットする場合は、UPスイッチを5秒以上押し続けると、高濃度モードに設定されます。
「C0」=60分～
「C9」=69分
1分毎に「UP」「DOWN」スイッチで切換え可能
高濃度モードの解除はDOWNスイッチを5秒以上押し続けてください。



- * 電解中は吐水口ランプ▽が点滅します。終了すると点灯になります。
- * 電解開始後、カウントダウンで表示します。

- 3 電解スタートスイッチを押すと電解を開始します。(電解中は緑のランプが点灯します。)

注：電解中は絶対にフタを開けないでください。

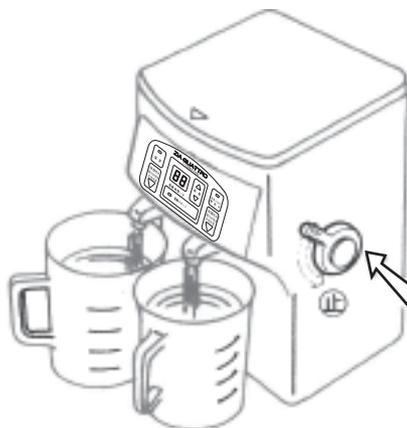
5

初めての使用時、長期間未使用の場合。

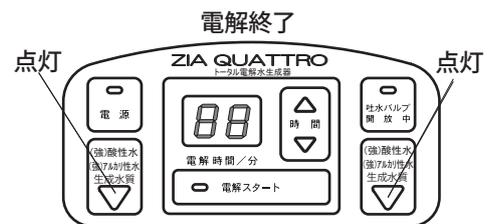
初めての使用時や長期間未使用の場合は、電解時間を15分にセットして電解してください。出来た生成水は捨ててください。

6

生成水質ランプが点滅から点灯に変わり、終了ブザーが鳴りましたら電解終了です。吐水口にビーカーを並べて置き、バルブレバーを「出」の位置にし、水を取り出します。



完全に生成水が抜けましたら、バルブレバーを止の位置にしてください。吐水終了してもレバーが戻されないとブザーでお知らせします。



注：電解中に設定時間の変更はできません。

1. 終了ブザーが鳴ったら速やかに水を出して下さい。水は本体内に残さず、1度で全て抜き取ってください。
2. 本体内に水を残したままコンセントを抜かないでください。
3. 水道水や硬水を使用した場合、電解槽内に白い沈殿物(カルシウム等)が生じることがあります。
4. 生成された水は、時間とともに有効塩素が低下しますので、できるだけ早く使用してください。

7 高濃度微酸性水の有効塩素濃度の確認

有効塩素の測定方法は別売品の高濃度塩素測定用を使用して比色表で確認してください。



別売品
高濃度塩素測定用

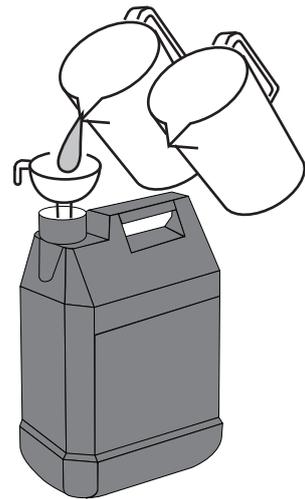
参考：日産化学工業
アクアチェックHC

1. 容器から1本取り出す。
2. 微酸性水に浸ける。
3. 変色具合を比色表と比較し、その近い色で判断します。

■有効塩素濃度を調整する場合は、電解時間の設定で行ってください。濃度を高くする場合は長く、濃度を低くする場合は短く設定してください。

8 高濃度微酸性水の保存

1. 出来上がった高濃度微酸性水を、付属の4L保存容器にロートを使って入れます。(2L×2杯)
2. 容器に保存した後は、お子様の手の届かないところで、光が当たらず、温度の低いところで保管してください。
3. 生成後は、有効塩素濃度が低下しますので、できるだけお早めにご使用ください。

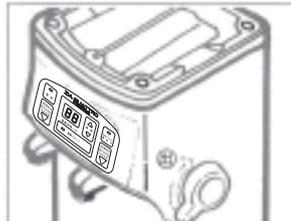


4L保存容器

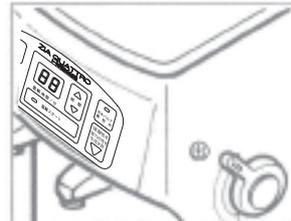
9 注意事項



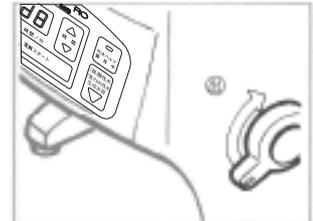
1. 原液を作る際は、指定されたものを使用し、規定量を守ってください。
2. 水は、水道法基準に適合したものを使用し、規定量を守ってください。



1. 本体に原液を作る際に、バルブレバーが止の位置になっているか確認してください。出の位置の時は開放中ランプが点灯しています。
2. 本体に水がかからないよう注意してください。



1. タイマー設定が「0」の時又は、バルブレバーが出の位置に来ている時は、電解スイッチがONになりません。
2. 電解中にバルブレバーを出にすると電解終了となります。



1. 吐水中にバルブレバーを出にすると警報ブザーが鳴ります。1度で全て取り出して下さい。
2. 電解終了後は本体に生成水を入れたまま保管しないでください。

警告 電解生成を行う場合は、換気の良い場所で行ってください。
塩素ガス等が発生しますのでご注意ください。

警告 生成された高濃度微酸性水に、酸性の液体を混合しないでください。
有毒な塩素ガスが発生する恐れがあります。

注意 指定された電解補助液を使用し、規定量を守らないと生成性能が
得られないばかりか故障の原因となりますのでご注意ください。